



立教大学広告研究会OB会報

http://www.hosobunka.co.jp/rikkyoad

Vol.26

発行所 立教大学広告研究会OB会
〒104-0061 東京都中央区銀座8-14-5
TEL (03) 3541-5405
発行人 佐藤 弘美
編集人 黒岩 俊隆
平成19年(2007年)6月発行
第26号(毎年2回発行)

現役だより

OBにはやっぱり気になる現役の活動ぶり。
平成19年度委員長の大朝健太君に一問一答で
答えてもらいました。



平成19年度組織

● キャンプストア

店長、営業副店長、合宿長、催事係(イベント・音楽)、PR係、営業会計、合宿会計

● ミス・ミスコンテスト

プロデューサー(協賛関係など営業活動)、ディレクター(当日の舞台装置、照明など)プレス・エージェンツ(広報と雑誌取材の仲介など候補者のマネージャー役)

● 広告研究

研究局長

● 運営部門

ウェブ局長(ホームページの作成)、一般会計、記録、制作局長(キャンストの看板・ミスコンのチケットのデザイン)、出版局長(暑中見舞い・年賀状)、運営副委員長、渉外(他大学との交流)

現役学生年間スケジュール

4月 新入生歓迎会、広告講座5月 月新歓合宿、広告講座6月 キャンスト準備7月14日から8月24日 キャンプストア営業9月 秋合宿10月 ミスコン準備11月 学園祭・ミスコン開催12月 役員改選1月 来季への準備2月 春合宿

Q: 新一年生の入部数は?
A: 54人です。
Q: 全部員数は?
A: 103人です。
Q: 今年度の方針について
A: 今年は創部54年目の活動になるので昨年経験したことの後輩に伝えていく為にも、イベントの充実とひとりひとりのつながりを大切にしていきたいと考えています。同時に先輩達から受け継いだ広研らしい雰囲気も伝えていければいいかなと思います。キャンプストアのキャッチコピーや、ミスコンのポスターのテーマを考えたりすることを広告研究の発表の場と位置付けています。
Q: 私達(昭和40年代)とは組織が大分違うようなので、組織と各々の活動内容について説明してください。
A: 内容については広告研究とキャンプストアとミス・ミスコンテストとを活動の二本柱と、とらえています。三年生の20人のうち19人が役員についています。一年生、二年生は全ての活動に参加する形です。

インフォメーション

◆第54回立教大学 学生キャンプストア

営業期間: 7月14日(土)~8月24日(金) 10:00~21:30

場 所: 館山市北条海岸

キャンプストアではこのOB会報(第26号)をお持いただいたOBの方に、生ビール以外のワンドリンク・サービスさせていただきます。



第54回立教大学 学生キャンプストア店長 栗原 一貴

◆第23回ミス・ミスター立教コンテスト

日時: セントポール・フェスティバル最終日(11月4日(日)予定)
会場: 立教大学池袋タッカーホール(予定)

ミスコン会場には20席のOB席を設けてまして参加をお待ち致しております



第23回ミス・ミスター立教コンテスト プロデューサー 笹谷 友梨

◆キャンプストア・フェスティバル

今年私たち現役生で新たに「キャンプストアフェスティバル」というキャンストとミスコンのコラボレーションしたイベントを開催致します。私たちの理念は、役職、学年関係無しに一つのイベントを作り上げたい、そしてそれぞれの活動をセパレートせずに協力しあうことで新たな魅力、可能性に挑戦したいというものです。

是非皆様お誘い合わせの上、お越しくださいませ。

開催日時: 8月18日 14:00~15:00

場 所: 館山北条海岸キャンプストア前

内 容: ミスコン候補者によるファッションショー、ビンゴ大会やイベント終了後の自主海浜清掃など

◆Tシャツ寄贈のお知らせ

広研OB会では、今年も新たにキャンプストア用のTシャツを作成し、現役会員に寄贈することとなりました。今回は34年卒の山本正夫先輩にデザインをお願い致しました。

また、同じTシャツをOB会員の皆様に販売させていただきます。販売場所は、7月18日(水)に実施する「サマーフェスティバル」の会場内、及び「キャンプストア」店内を予定しています。なお、今回は通信販売も検討しています。

詳細は55年卒の片田まで、お問い合わせください。頒布価格は、1,000円前後の予定です。



問合せ: 片田携帯 090-4013-8040

おくやみ

日野俊明氏(昭和46年卒)平成19年4月逝去 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

と同世代のOBにとつてはキャンプストア、イコール広告研究会のようなものと思えます。

もう一つは、比較的若い世代を中心とした立教ミス・ミスターコンテストの運営です。この立教ミス・ミスターコンテストは昭和60年に始まり、今の広告研究会を支えるもう一つの大きな柱へと成長を遂げました。今や学園祭の目玉企画の一つとなり、コンテスト出身者が芸能界に進出するなど、その活動の成果は広告研究会の枠を超えて様々な方面へ波及していると言えます。私どもの時代には全く考えられない企画ですが、ある意味ではキャンプストア以上に広告研究会の代表的な活動になっているのかもしれないと。若い世代のアイディアと活力には圧倒されます。

このように今の広告研究会は様々な活動の軸を持つ、非常に幹の太い団体に発展しました。幅広い世代にわたって、力強く受け継がれるそれぞれの発想や価値観は、多種多様な広告文化をさらに成長させるエネルギーそのものであると私は考えます。力強く受け継がれる流れを大事にしながら、OB皆様のお力をお借りして活動を支えていけたらと考えています。よろしくお祈り致します。

OB会長に 佐藤弘美氏選出される

去る4月27日に行われた平成18年度立教大学広告研究会OB総会において、戸田前会長ご推薦の佐藤弘美氏が第54代OB会会長として承認されました。昭和43年卒の佐藤会長はキャンプストアの店長を務め、最も会員数の多い時代をすごされました。



新OB会長就任にあたり 立教大学広告研究会OB会長 佐藤 弘美

この度、新しいOB会長に就任いたしました佐藤です。1月に突然役員会から次期会長就任の要請があり、3月に申し出を引き受けさせていただきました。これまで私は、主として自身の仕事の性質上、OB会の活動には一會員の立場でしか参加できませんでした。しかしながら3年程前体調面の理由から仕事を辞めたことで時間の余裕が生まれ、OBとして何か出来ることは

ないかと考えておりました。そこへ今回のようなお話を頂き、少々悩みましたものの新しいチャレンジとして引き受けることに致しました。戸田前会長におかれましては永年に亘りOB会活動にご尽力下されましたことは誠に筆舌に尽くしがたく頭が下がる思いです。OB会50年の歴史を紐解いても社会的、人間的な大きき、懐の深さは右に出るOBはいらっしゃいません。今後のOB会へのアドバイスをお願いするとともにここに心から深く感謝、御礼申し上げます。

参加できなくとも間接的に利用できるOB会のあり方を考えております。第二には現役学生が広告について学ぼうとする姿勢を支える事だと思えます。広告研究会はその名の通り、広告とは何かを研究し実践することを目指す。そして今の広告研究会には本来の研究の他に、二つの大きな活動があります。一つは夏のキャンプストア運営です。このキャンプストアは昭和29年に森永製菓をスポンサーとして開店して以来、昭和41年に森永がスポンサーを撤退した後も自主運営という形で存続し、一貫して広告研究会活動の主要なポイントとしてあり続けてきました。私自身が現役の学生だった時も、このキャンプストア運営に精力を傾け、とてもよい思い出が残っています。キャンプストアから見えた夕日に映える海の向こうの富士山、キャンプストアが終わる時の別れの涙。今でも思い出出すとあの頃の気持ちが蘇ってきます。私

大内 そうね、各年代がま
まっていれば30年後どっか
接点が出てくると思うね。サ
マーフェスティバルや会報を
継続的にやっていけば何らか
のきっかけで行ってみようか
と言う人が出てくると思うん
ですね。

司会 片田さんの学年の結東
はいかがですか？

片田 広告研究会の場合はキ
ヤンストがあるので連帯感が
すごく強いと思うんですね。
青春の真つ盛り合宿生活を
送っている訳ですから。それは
各年代同じだと思いますが、
皆キャンブスタアが好きだか
ら広告研究会に対して良いイ
メージをもって卒業している
のでOB会に対しても悪い気
持ちは持っていないと思いま
す。僕達の代でも年2回位集ま
っていますから、下の代の人
達もそのようにやっているの
と思います。年度幹事会の代表
が学年をうまくまとめれば段
々OB会に参加してくれるよ
うになるでしょうし、来ない
人達でもOB会との繋がりは
保てるのではないかと思います。



●名誉会長 戸田 茂氏

戸田 キヤンストのつながり
があるって事でしようね。一夏
一緒に生活するわけだから。
黒岩 学生時代の良い思い出
があるからみんな広研が好き
だしね。

戸田 何かやるって言えば12
年間皆が応援してくれてあり
がたかった。サマーフェステイ
バルの景品も集まってくるし
ね。

佐藤 サマーフェスティバルの
とき品物提供しましたよね。
その時ちょうど50になるかな
らないかの年なんです。そ
ういうこと言われてくると嬉
しいんですよ。よし！恥ずか
しくないようにやろうって
いうようなね。品物のことを黒
岩さんに聞くと足りなくなら
ないようにしてくれて、全然
具体的じゃあないんですよ。
だからあるものみんな持って
いったって感じですけどね。
あの時は気持ちですよ。気持
ちで押していたという感じ
でした。

黒岩 もともと新会長は広研
が好きだから。何かやりたく
てムズムズしているような雰
囲気がありましたね。(笑い)
戸田 同期の藤井さんがOB
会長をやっていたときバスハ
イクを企画したり、ソフトボ
ール大会をやったりしたこと
があったんだよ。



●副会長 (会計担当) 片田成一氏

いんだということ、OB会
の今後50年後の1000年祭と
いうことを考えたんです。そ
れは今の現役の学生が中心に
なってやるのですよ。私は1
00周年は見られませんが。だ
から非常に運命的なものを感じ
ている今の学生に、出来る
だけの支援をしてあげよう
という気持ちです。

新会長への期待と
これからのOB会

司会 佐藤新会長に何を期待
しますか。

戸田 12年間は少し長くやり
すぎたかなって。山元さんが
引いた路線を皆さんのお陰で
軌道に乗せることが出来まし
た。年二回の会報と毎年統
いるサマーフェスティバル、
ただそういうことは続けてい
くと新鮮味がなくなるのでね。
少し趣向を変えるとか新しく
することを考えても良いので
はないかと思えますけどね。
それと若手に参加してもら
おうと努力したつもりだけれど
出席率が余り良くないのでそ



●相談役 大内 道雄氏

黒岩 今のところゴルフだけ
だよ。俳句の会とかやりま
すか。

片田 OB会の中に集合体が
出来てそれが楽しみで集まる
ような形になれば、OB会自
体も活性化するんで良いこと
だとは思っていますね。

大内 全体が集まらなくても
良いと思うよ。各年度とか、数
年単位くらいで集まるとか。
その中の誰かが、本体と繋が
っていけばよいと思います。
黒岩 戸田前会長はレディー
スを作るって言ってましたよ
ね。

戸田 それは早い内から提案
があったんだけど僕がいるう
ちには、めぼしい活動はでき
なかったね。

司会 黒岩さんは副会長とレ
ディース部長を兼務しておら
れますがいかがですか。
黒岩 女性は結婚前か子育て
が一段落しないと、活動したく
ても出来ない事情があると思
うんです。時間と精神的余裕、
会いたいという気持ちが必要な
時まで何とか繋がっていて欲
しいなという気がしますね。

の点を佐藤会長に宿題を預け
たようになってしまったこと
が心残りです。
大内 役員が代わったのを機
会に佐藤さんのやり易いよう
にやってみようのが一番良い
と思うよ。我々に余り気を使
うことはないのだし。形を変
えるといってもなかなか無理
な注文だけれど何かやってい
かないとどうしても踏襲する
形になってしまいうから、思い
切ってやりたいようにやって
貰いたいと思います。会計と
しては、キャンストの再建基
金を集めるとき300万の予
定だったのが、自動引き落とし
を含め520万、530万の
お金が集まったことを感謝し
ています。

黒岩 OB会が今日あるのは
戸田さんは勿論のこと大内先
輩の確かな経理のお陰があった
から大変なご尽力でした。真
似できない。
戸田 僕がやっている間40周
年と50周年記念パーティーで
はそれぞれ大変盛り上がり
OB会を活性化するイベント
になりました。有難かったです。
黒岩 佐藤会長は前向きにや
ってくださるから我々は支え
てまいりますので宜しくお願
いします。
司会 片田さんはこれからの広
告研究会をどうお考えですか。

OB会として
現役をどうサポートするか

司会 では次に現役に対する
支援についてのお考えを聞か
せてください。

佐藤 難しいものがあります
けど、ある程度線を引いて付
かず離れずという感じで、余
り入ってもいけないし、下
つてもいけない。OBは一線
引いて活動していかなくやい
けないのかなって言う感じが
しますね。

司会 片田さんはいかがです
か。

片田 OB会っていうのは現
役に対する支援組織ではない
し、スポンサーでもないと思
うんです。ただOB会の発展な
くして現役の発展はないし、
現役の発展なくしてOB会の
発展はないので、OB会として
現役に少しサポートしてあげ
るということは、大事なことだ
ろうなと思うのです。しかし
お金を出すとつい口を出した
くなるのでお金で支援するの
は余り望ましくないのではな
いかと。それでキャンブスタ
アに関しては、ユニフォームの



●会長 佐藤弘美氏

片田 OB会には戸田さんや大内
さんに骨格を作っていたとい
たのでその線を踏襲していけ
ば発展していくと思います。
現役の支援については深入り
せず的確に支援するという
スタンスを取っていかないと
思います。現役の活動の中
で広告を研究することがお
ろそかになっていけばOB会と
して助言することも大事な支
援だと考えています。今まで
積み上げられてきたOB会の
活動をより充実させていき、
次世代へバトンタッチする
言うようなつもりで活動して
いこうと思っています。

佐藤 私は一つのスローガン
として直接参加できなくても
間接的に利用できるOB会が
出来たら良いかなと。地方に
いる方を集まりに参加して
もらうことは難しい問題です
ので間接的に利用できるOB会
が必要になってきたんじゃない
かと感じています。美し
き継続と間接的に利用できる
OB会が出来たら良いなとい
うのが私の考えです。



●編集委員 平井喜美子



●副会長 (統括・会長代行) 黒岩俊隆氏

Tシャツが足りないというこ
とだったので、それを寄付す
る事を提案して了承してい
だきました。ミス・ミスター
コンテストに対してはOBの
3分の2くらいが経験してい
ないので自分達の活動では
ないというイメージが強いよ
うですが、今の現役の活動を見
ていまして広研の活動を世間
知らせているのはコンテス
トなのだろうなと思います。
それで、去年コンテストを見
に行く会を提案しましてコン
テストの賞品の一部をOB会
から出すという支援で、現役
OBとの接点を強く出来るの
ではないかと思いいつように
提案しました。

佐藤 キヤンストの支援につ
いてはお金を渡すより万遍
なくありがたみが伝わるよう
な気がするね。

未来のOB会を支えるのは
今の現役生

司会 広告講座についてはい
かがですか。

戸田 私が発足してから年二
回の広告講座をOB会主催で

OB会が出来たら良いなとい
うのが私の考えです。
司会 会報はOB会から発信
する唯一の情報源と思います。
楽しみにして下さっている方
もいらつしやるでしょう。編
集委員として紙面を大事にし
ていかねばと肝に銘じており
ます。本日は長時間お話し頂
き有り難うございました。

新役員紹介

- 会長 佐藤弘美 (43)
- 副会長 (統括・会長代行) 黒岩俊隆 (44)
- 副会長 (会計担当) 片田成一 (55)
- 副会長 (現役担当) 大野誠一郎 (H.8)
- 副会長 (女子部長) 藪谷和代 (45)
- 事務局 (事務局長) 矢口正幸 (43)
- (会計担当) 小澤香保里 (51)
- (催事・サマーフェスティバル) 生稲栄次 (46)
- 箕輪正則 (47)
- (会報) 堀江昌宏 (44)
- 平井喜美子 (45)
- 谷口 茂 (47)
- 名誉会長 戸田 茂 (33)
- 相談役 勝呂哲郎 (31)
- 室屋 至 (32)
- 大内道雄 (34)

※カッコ内数字は卒業年



●副会長 (女子部長) 藪谷和代氏

やっているのですけどね。研
究班が主体でキャンブスタア
担当とかミスコン担当は来な
いこともあるんだよ。広告講
座は基礎なのだから参加すれ
ばよいと思うのだけれど徹底
していない不満があるね。
佐藤 僕は三本柱って絶対無
いと思う。二本のイベントが
あるというだけでベースはあ
くまで広告を研究することに
それが広告研究会の会員の義
務と権利なんです。イベント
をやるという権利を主張する
のなら先ず義務を果たしなさ
いという考えです。広告研究
会の会員である以上、講座に
積極的に出るような学生であ
って欲しいなと思います。
大内 そういうことは二月の
現役新役員との懇親会で強く
言ってやらんと駄目だろうね。
戸田 OB会でもね、広告研
究会なんだからそういう集ま
りがあったもいんじゃない
かと言う声もあるんだよ。
佐藤 OBに要望があれば講
座を開いても良いですね。会
長をお引き受けしたときに先
ず55周年をやらなきゃならな

三三〇B会特集

昭和43年卒同期会

あの時君は若かった



昭和43年卒の仲間である佐藤弘美君がOB会の会長に選出されるといふ朗報に、全国に散らばっている還暦を過ぎた同期生が原宿の南国酒家に集まりました。戸田会長にも出席していただき大変盛り上がり、富山・福岡・徳島・倉敷などから駆けつけた顔は久しぶりの再会でしたが、ほとんどが学生時代と変わらぬ、40年の歳月を感じられないほど生き生きして元気なので、一同気が良くしました。佐藤君は、個性が猪突猛進型なので暴走しないように我々は後ろからブレーキを掛けながら応援していきこうと話しました。(上沢/記)

昭和44年卒同期会

社長就任を祝い



日本経済新聞の人事欄で、茂木康三郎君の利根ココロ社長就任の記事を発見した竹内吉直君の発案で、4月6日、同期を中心にした祝賀会が開催されました。同期に何人かいる社長でも日経に載ったのは初の出来事ということ、日本全国から(と言っても秋田と富山から1人づつですが)40名程のメンバーが参加してくれました。銀座神田川の美味しい鰻を食べながら、竹内君の司会、黒岩キャンスト店長の祝辞、茂木副店長の答礼と、

昭和45年卒同期会

還暦を迎えて

〈堀江/記〉



何となくキャンストの朝を思い出させるスチエーションで会は進行し、ゲストの戸田前会長、佐藤新会長のご挨拶、乾杯の御発声を迎える頃は完全に40年前にタイムスリップ状態で大いに盛り上がり楽しい一夜を過ごしました。

2007年2月3日、この年の「大問題」の当事者で「団塊」と呼ばれる私たち、昭和45年卒の同期会が開催されました。この45年卒という私たちの世代は60年前の「ベビーブーム」で誕生し、政治、経済、文化、福祉等様々な分野で問題

昭和46年卒同期会

家族と共に

(山口/記)

昭和46年卒恒例の春のガーデンパーティーが、5月20日絶好の好天気に恵まれた横浜の鈴木邸庭園にて開催されました。我々の同期は、酒は秀三・肴(魚)は生稲と、どちらも不自由なくいつものように家族揃って大いに飲み、かつ食べ楽しい一日を過ごしました。

今年初めてたく還暦を迎える5名(2名欠席でしたが)におそろいの真っ赤なTシャツが贈られ、それを着て出席三組の夫婦の記念撮影となりました。



※ご覧の通り今年前半4期の同期会が開かれました。それぞれ記念すべき会で、おおいに盛り上がったようです。来年27号の会報には、若い世代の同期会情報をお待ちしています。

また4月の末に亡くなった同期・日野君を悼み、想い出話に個人を偲びました。(生稲/記)

広告講座

第一回広告講座

4月25日(火)
432教室

本年第一回目の広告講座は、昨年と同じく講師に吉沢佳子氏をお迎えして開催されました。

最初に広告と宣伝の違い、広告とSA(Sales Promotion)の違い等を説明していただき、様々な新聞広告を見て、その広告がどういった要素(タレントの使用、話題性など)を元に作られているかを説明していただきました。次に実際の新聞広告を用いて、その広告のキャッチコピーはどういったものかを考えようという課題に取り組みました。各個人で考えた後に全員分を黒板に書き出して、吉沢氏にひきつづき講評をしていただきました。実際に全員の答えを書き出してみることに、吉沢氏が狙った意図どおり、他人のコピーと比較して面白いと感じたり、どういった差があるのかを明確にできたと思います。そして、次回に向けて吉沢氏から個人用とグループ用の課題が出され、一回目の広告講座は終了しました。

第二回広告講座

5月21日(月)
5125教室

二回目の広告講座は、最初にあらかじめ提出してあった個人用の課題についての講評が行われました。市販のもの・サービスについて200字以内で書くという「小さな広告」という課題です。ここで助詞の使い方や、指示語の不正確、リズムの重要性などの説明をしていただき、続いてメインであるグループワークの発表を行いました。全部で5つのグループが西武ドームからグ



ッドウィルドームへの名称変更についてのキャッチコピー及びポディーコピーを作るという課題でした。期間が短いにも拘わらず、どのグループも面白い作品を作っていました。

最後にOBであり、毎年広告講座のお世話をして頂いている柏木新先輩(38年卒)に広告業界についてレクチャーをしていただきました。

2回の広告講座で1年生には広告の初歩の知識が付き、また2、3年生にはまた新たな発見があったと思われまふ。広研OBの皆様方、またお忙しい中、快く広告講座を引き受けて頂いた吉沢氏には大変感謝しております。今後より良い広告研究をしていけるよう努力していきたいと思ひます。

〈研究局長 山田耕平〉



吉沢佳子氏

吉沢佳子氏は毎日デザイン賞、日経広告賞、消費者のために作った広告賞、女性の地位向上広告賞などの数々の賞を受賞、また「普通のコピーライター」(田原晋編共著)、「商社マンの仕事」等々の著書があります。

RIKKYO UNIV. AD. CLUB OB SOCIETY GOLF COMPETITION "THE MASTERS"

第12回(ザ・マスターズ)開催のお知らせ

今回の幹事は規定により前回優勝の51年卒平田敬和氏と、前回栄えあるBBの44年卒塚瀬みちよさんです。ふるってご参加ください。

- 日時: 平成19年9月2日(日)
- 場所: 真名子カントリー倶楽部
〒322-0605
栃木県上都賀郡西片町真名子436-1
電話 0289-64-7311

- プレー費: 約14,000円
(プレイフィー、キャディーフィー、昼食付き)
- 会費: 5,000円

その他詳細は参加申込の方に、改めてご連絡いたします。

※出欠は同封のハガキにて事務局・矢口までお知らせください。



サマーフェスティバル in GINZA

- 日時: 7月18日(水)
- 開場 午後6:00 開演 午後6:30
- 場所: 銀座十字屋ホール(銀座松屋正面・十字屋ビル9F)
- 会費: 男性5,000円 女性3,000円

立教大学広告研究会OB会恒例の真夏のイベント、サマーフェスティバル(キャンプ・ストア in GINZA)が平成19年7月18日に開催されます。生ビール飲み放題、おいしい料理も食べ放題。同期の仲間やご家族お誘いあわせの上、是非ご来場ください。



※出欠は同封のハガキにて事務局までお知らせください。